

計画の策定に当たって

介護保険制度が施行された平成12年以降、わが国の高齢化は益々進展し、平成30年10月現在の総人口に占める65歳以上の高齢者の割合（高齢化率）は28.1%、75歳以上の高齢者の割合は14.2%という状況にあります。

本市においては、国を上回る速度で高齢化が進み、令和3年1月末現在の高齢化率は39.3%に達し、いわゆる団塊の世代が全て75歳以上となる令和7年には65歳以上は40.0%、75歳以上は令和3年から3.6ポイント増加し25.3%に達すると見込まれております。

このような状況を踏まえ、「高齢者が健康で生きがいを高め、介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して自分らしく生活できるまちづくり」を基本理念として、高齢者の保健・福祉及び介護保険事業が相互に補完し合い、今後取り組むべき施策を取りまとめた「第8期砂川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定いたしました。

この計画では、「砂川市第7期総合計画」を最上位計画として、高齢者が要介護状態等となっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に引き続き取り組むとともに、新たに感染症対策に係る体制整備を図ることとしております。

本計画の推進に当たりましては、地域での見守り活動や高齢者の生活支援・介護予防の体制整備を推進するため、市民の皆様や関係機関と連携を図ることが大切であると考えますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定に当たり、それぞれの専門分野における幅広い見地から貴重なご意見やご提言を賜りました砂川市高齢者保健医療福祉推進協議会委員をはじめ、関係機関・団体各位、アンケート調査にご協力いただきました市民の皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

令和3年3月

砂川市長 **善岡雅文**



【高齢者軽スポーツフェスティバルにて】